



GoTo きいばす

令和2年度のまとめ

- ・来館者数 7,296人
- ・太陽光発電量 110,130kWh



令和3年4月 vol.6

3月の来館者数と太陽光発電量

589人 (累計86,303人)

北ソーラー：固定 4,737kWh

南ソーラー：追尾 5,010kWh



出力100kW (1基50kW)

一般家庭で使用する電力量
300kWh/月として、約32軒分の
電力量を発電しました。

3月20日(土・祝)に開催した「春のきいばすまつり」の様子をユーチューブ公開中。最新動画「祭りや桜がやってきた」を見てみよう。



3月のトピック

3月2日に自衛消防訓練を行いました。消防署職員による指導の下、初期消火や通報の方法を学びました。



AEDの使い方や注意点、心肺蘇生法の講習を受けました。



待機電力

〜エネルギーを

合理的に使おう！

使っていないのに電力を消費する待機電力、皆さんはどうしてますか？

きいばすには待機電力について知ってもらうための展示があるんだ。コンセントにプラグを差したままでも電気を使わない物や使う物があるよ。一度、見学して学んでね。

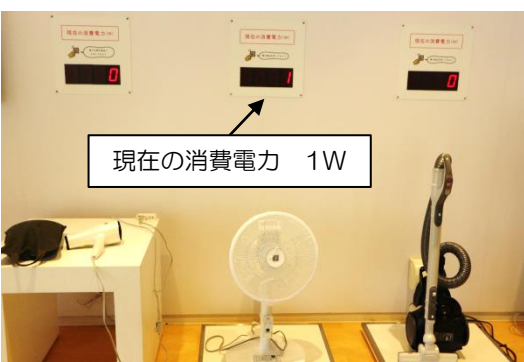
最近ではエネルギーを大切に使うために、待機電力を減らす設定があるんだ。↓

また、無線ルーターやモデム、衛星放送チューナー、ビデオデッキなどは、使い方を直すと待機電力を少なくできるんだ。インターネットが普及したことで録画方法も大きく変化したんじゃないかな。



一方で、待機電力は暮らしを快適なものにしてくれている。うまく付き合っていくことが大切なんだね。

皆さんもぜひ、取扱説明書を確認し、暮らし方に合わせて待機電力を減らす工夫を考えてみよう！待機電力についてももっと詳しく知りたいと思ったら、きいばすへGO！



現在の消費電力 1W

リモコン付きの扇風機は待機電力が発生するんだ。



体験プログラム

今回は小3の「エネルギーの変身」をご紹介します。

私たちは道具を使って様々な形のエネルギーを利用していきます。道具は、いわばエネルギーの「変身装置」です。

このことを、館内の物や装置を使って、どんなエネルギーと関係しているかを調べ、エネルギーの種類(電気・熱・光・音・運動)で分類します。

手回し発電機を使うと、体のエネルギーを電気に変身させることができます。そして、皆で力を合わせると扇風機を回すこともできます。

体験を通じて、いろいろなエネルギーに変身することが実感できます。



手回し発電機を皆で回して、扇風機を動かす体験





号外 GoTo きいばす

令和3年4月 号外vol.1

春のきいばすまつり

3月20日(土・祝)に「春のきいばすまつり」を開催しました。感染症予防対策として、イベントは人数制限及び予約制とし、館内を一方通行にした臨時の展示コーナーを充実させました。(来館者数245人)



↑入口で消毒・検温
来館者メモの記入↓



VR新作登場

「きいばすVR」に新たに4作品が仲間入りし、お披露目されました。再生可能エネルギーによる発電現場をプロがドローンで撮影、参加者は360度に広がるダイナミックな映像に感動していました。



きいばす迷路

迷路には100名を超えるちびっ子が挑戦、コロナ対策として、一家族がゴールしてから次の家族が入るように調整しました。参加した子どもらは、わくわくしながらゴールを目指していました。



ゴムの力で遊ぼう

午前と午後で各5組の親子が「ゴムたけとんぼ作り」にチャレンジしました。ゴムをまく回数や方向、羽の曲がり具合で飛び方が変わるので、いろいろな工夫をして「天井まで届け！」と夢中で取り組んでいました。



超低温のふしぎな世界と科学マジック

液体窒素を使って凍らせた花を手でつかんだり、凍ったバナナで釘を打つたりと、マイナス196度の世界を体験しました。また、手で触れずにものを動かすマジックや、火を使わずに調理するスクランブルエッグなど、会場は大いに盛り上がりました。

今年から、このような楽しく不思議な実験・観察を行う新企画「エネルギー教室」が始まります。皆さん、ぜひ、ご参加ください。



パネル展示

町内の児童生徒が「きいばすプログラム」を体験している様子や、エネルギーに関する最新的话题を展示しました。



新たな取り組みとして、図書館による「絵本の読み聞かせと紙芝居」、国吉城歴史資料館による「丹生に麒麟がきた?かも話」、歴史文化館による「丹生古墳探訪」なども開催されました。また、関西電力㈱、日本原子力発電㈱、日本原子力研究開発機構の皆様にもご協力いただきました。

